

発行 江東区民報編集委員会
責任者 今井 栄一
住所 江東区亀戸7-39-1-501
電話 3648-5155 FAX 3648-5137
ホームページ
http://www.koto-minpo.jp/

なんでも無料相談



共産党の生活なんでも相談会。写真右は相談にのる吉田・あぜ上氏=木場2丁目公園

議会報告

09年度予算案発表
2月24日から来年度予算を主な議題とする区議会第一回定例会が始まります。今月4日、予算案の概要が発表されました。

区の人口は44万6千人から46万2千人へ約1万6千人増加。区税収入も2.3%増となりました。

一方、区一般会計予算の歳出は5.9%増となりました。

区民要求もりにこまれる
同予算案には日本共産党区議団が繰り返し求めてきた、中小業者

向け緊急融資の拡大や中学校特別教室へのクーラー設置、保育園入所待機児解消のための千田保育園(仮称)など4つの認可保育園の新設、介護従事者の確保支援策として区独自の家賃助成、容器包装プラスチック再資源化、子どもショータイムの開始など多くの区民要求が盛り込まれています。

オリンピック招致など問題点も
一方、オリンピック招致のため新たに3千万円も計上、また退職者に見合う新規職員の採用をせず、保育園や小学校給食の民間委託や

学校警備の機械化拡大などで、正規職員のさらなる削減をすすめる内容となっています。

また区内中小業者への公共事業の前倒し発注や雇用支援など緊急性が求められる不況対策などは十分なものとなっています。

あぜ上・菅谷区議が本会議質問
日本共産党区議団はこうした問題を24日にあぜ上三和子、25日に菅谷俊一両区議が本会議質問であきらかにするとともに、予算案(非公明)審議を通じさらにた

なんでも相談会のチラシ見て70代の男性「神様ついているんですね…」

全戸配布されたチラシを手朝7時から寒空で待ちわびた人、順番待ちの状況も。70代の男性は「郵便ポストに共産党さんのチラシが入っていました。世の中に神様ついているんですね」と江東生活と健康を守る会会長の佐藤殿氏に語りました。

男性は「息子が障害者、妻は去年から茨城で入院、医療費の支払いも大変」と訴え、障害者手帳など必要な書類をそろえ再度事務所での相談を約束、ほっとした表情で帰りました。

生活保護を受けている90歳に近い男性は、「8万円で暮らすには1日2食です。女房が認知症で千葉県施設に入院しているので寂しい。見舞

いに行きたいが遠くて行けない」。対応したあぜ上三和子区議は、その場でケースワーカーに電話で相談。区内の特養ホームへの変更手続きを確認しました。

サラ金で苦しむ主婦
多重債務で苦しむ50代の女性には「数年前から利息が18%のサラ金の支払いで、生活出来ない」と打ちあけました。

対応した江東区民商事務局長の森外氏は「借入先、金額、利率などを自分で書き出して下さい。事務所まで相談しましょう」と応じました。

雇用主が行方不明
昨年春、運送業の免許を取ったばかりの会社で働いていた63歳男性は「去年9月に解雇するとも言わずに自分が乗っていた車を取り上げられ、仕

事ができなくなった。社長がつかまらず、川口労働基準監督署に相談して貸金の請求を文書でやっているが、何の返事も無い。どうしたらいいか」と相談。対応した正保みき区議と建交労働本部の若山書記長は①陸運局で調べてみます。会社名がわかるので登録していれば現住所がわかるかもしれない。②建交労に履歴書を郵送していただければ仕事の紹介ができるよう努力すると答え、正保区議も事務所での相談を約束しました。

このほか、雇用問題、年金、医療、相続税、障害者の求職問題など、悲鳴に近い相談が寄せられました。

国の法律相談機関「法テラス」0500133831-5300「サラ金はじめ各種法律相談に費用は無料。」

生活なんでも無料相談会

お問い合わせは3648-5151

2月20日(金) カメリアプラザ6階和室
2月20日(金) 豊洲文化センター第3会議室
★いずれの会場も 18時30分~20時30分

主催: 日本共産党江東地区委員会
同区議団・吉田・あぜ上事務所
各分野の専門家も協力

なお各区議事務所でも相談会をおこなっていますのでお気軽にお出かけください

経済危機の津波が太平洋を越えて、輸出産業に依存している日本に襲いかかってきました。大企業は莫大な230兆円の内部留保を抱えながら、労働者の首切りでこの危機をのりこえようとしています。▼派遣切り8万5千人の当初の予想も、今や12万4千8百人と厚労省の発表でも急増。さらに学生の就職内定取り消しも1千215人、東京だけでも466人です。▼売手企業率4.4%、270万人を記録しました。 「国が悪いのか、自分が悪いのか」と失業者の嘆きが聞かれます。▼先日テレビに小泉構造改革のブレイク竹中平蔵氏が登場。04年製造業への派遣労働の責任を問われ、「僅か2.5%ですよ」と平然と答えていました。非正規が全労働者の35%に迫り、大企業の儲けを増やしてきた事実を知らないとは言わせません。同氏は07年の参議院選で最高位で当選しながら早々に議席を投げ出した人物です。 ▼日本共産党小池晃参議院議員は政治家の資質として「人の痛みがわかる心」といいます。江東では党地区委員会、区議団、吉田・あぜ上事務所は2月6日を期して「生活なんでも相談会」を開催して痛みの解決に全力を尽くしています。

平和・くらし風土記 36

初期の労働争議 木場労働者の闘い

木場関係労働者の争議も、江東の初期労働運動の先陣をきるものでした。江戸から東京と名前が変わり、学制(1872年)で小学校が各地に建てられ机や椅子も必要となり、また新橋と横浜に初めて汽車が走り線路に枕木が使われるなど、木材使用量は江戸時代と比較にならないほど増大しました。

その需要に応じて木材は多摩川、荒川、利根川などの水路や大阪からの海上輸送で運ばれ、また米材の輸入も1894年(明治27年)ころから始まりました。

大量の木材処理のため1888年に木場の福正材木店に製材機械が導入され、1895年に初めて帯鋸機械を付けた製材工場が誕生しました。こうした「製材の機械化は木挽職人の生活と仕事を奪うもの」と、東京中の木挽職人が集まり、東亜木工所や山下木工所に押しかけたり、また機械を壊し、材木にクギ打ち込むなど機械製材に反対しました。しかし、その後木挽職人も機械製材の技術を身につけ製材工場労働者となっていきました。また1897年(明治30年)9月29日には、木場の材木引揚げ人夫がストライキをおこしました。



当時、深川区区内には116名の入夫がいたといわれ、1日の賃金は45銭と定められていました。ところが物価騰貴に耐えかねて入夫たちは密かに相談、この日「賃金を60銭に」と引上げを求めてのストライキでした。

材木商側は大変な困難におちいり、結局55銭に改めることで決着しました。

こうした初期の木材関係労働者の闘いの歴史は今日の労働組合運動に脈々と引き継がれています。(「木材労働運動のあゆみ①②」こうとう民報 No. 42, 43関連記事)

その後、昨年度の詳細調査の結果、発がん性物質ベンゼンが07年に検出された土壌1キログラムあたり最高5.1ミリグラムの115倍の最高59.0ミリグラムが検出されたことが判明しました。さらに、地下水を通さないという不透水層にも穴が発見されました。

ところが、移転に固執する都によって土壌汚染対策の専門家会議にこのデータが報告されないまま、7月26日移転容認の最終提言となりました。



2月6日夜、江東区亀戸のカメリアプラザで「都立墨東病院を直営で存続させる会」主催の講演と交流の集いが開かれ、江東、墨田、江戸川区から加盟団体代表や個人100人が集まりました。

集会は、最初に安田茂雄会代表が、昨年10月の妊婦死亡事件が二度と起こらないようにするために墨東病院を都直営で存続させること、産科医の補充など医療体制の確立は急務であり、運動をいっそう発展させたいと訴えました。

「直営存続」署名 29,493人に

木村初代事務局長からは、この1年半の活動で、宣伝・署名が錦糸町や亀戸駅前で9回、病院の門前でも10回行い、参加者が396人、そこの署名が4,329人にのぼり、「娘や孫が墨東で産まれた」「障害者もっている子どもがお世話になっている」「墨東病院はこれまで通り都直営で残してください」等経過報告が行われました。

都立病院の役割は ますます重要

「今、都立病院に求められている課題と役割とは」と題して、日本共産党都議団事務局長の中井健二さんが講演しました。東京の医療体制は95年から10年間で小児科病院が75ヶ所、産婦人科・産科の病院が49ヶ所も減り、病院とベッド数は全国40位、看護師数は32位と低い水準です。この責任は政府の医療費削減、医師抑制政策とともに、99年石原知事就任直後に都財政危機を理由にした「都立病院改

都財政は史上最高 財源はあります

オリビックを口実にした9兆円規模の巨大開発や1千億円積み立て、新銀行へ4百億円の追加出資などの浪費をやめれば、地域医療の中核である都立病院を守り、拡充する財源は充分にあります。

築地市場移転 東京ガス豊洲工場跡地の 土壌汚染公表値の115倍



2014年12月に築地市場が移転する予定の東京ガス豊洲工場跡地の土壌から、07年の都の調査では発がん性物質のベンゼンが環境基準の4万2千倍、猛毒のシアン化合物が9百30倍などが検出され、江東区議会でも日本共産党区議団は移転中止を求めました。

その後、昨年度の詳細調査の結果、発がん性物質ベンゼンが07年に検出された土壌1キログラムあたり最高5.1ミリグラムの115倍の最高59.0ミリグラムが検出されたことが判明しました。さらに、地下水を通さないという不透水層にも穴が発見されました。

ところが、移転に固執する都によって土壌汚染対策の専門家会議にこのデータが報告されないまま、7月26日移転容認の最終提言となりました。

2・3月の行事案内

- 2月15日(日) 10時 江東区高齢者集会
- 2月20日(金) 18時30分 ティアラ江東大会議室 生活なんでも無料相談会
- ①カメリア6階和室
- ②豊洲文化センター
- 2月23日(月) 18時15分 区民集会 大運動実行委 東陽公園
- 2月24日(火) 18時30分 社保協議会 土建会館
- 3月6日(金) 18時 江東革新懇議会
- 3月7日(土) 19時30分 東京区民館タウンホール 東京大空襲を語り継ぐ集い
- 3月15日(日) 10時 カメリアホール 深川健康まつり
- 森下文化センター